学校番号	T3005

平成31年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　新政治・経済　（第一学習社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済の内容は1年次の現代社会と重複する部分がありますが、より深く学びます。毎日のニュースで必ずといっていいほど政治や経済のニュースが報道されています。基本的な知識を固めながら、それに関連する実際に報道されているニュースも解説していきます。世の中がどうなっているて、どういう方向に進んでいるのかを正しく理解できるようになりましょう。

２　学習の到達目標

政治と経済の基礎知識を身につける。
実際に起きているニュースを理解できる。
そのニュースに関して自分の考えが述べられるようになる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代社会で起きている事柄について関心を高め、意欲的に問題点を追求しようとする。	政治・経済の基礎知識を身につけ、実際に報道されているニュースについて考えを述べられるようになる。公平・中立な立場で物事を判断できる。	視聴覚教材や新聞記事などの活用においてその情報を適切に選択し理解できる。	授業を通して現代社会のしくみと問題点を適切に理解し、自らの問題として考察することが身についている。
評価方法	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察	授業プリント 定期考査 観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4	民主政治の基本原理と日本国憲法	○政治と法の機能 ○議会制民主主義と世界の政治体制		○			b法の支配に基づく政治と民主主義のしくみを理解し、世界の主な国の政治体制を把握する。	授業プリント 観察
5		○日本国憲法の基本原理 ○平和主義と自衛隊 ○基本的人権の保障と新しい人権	○				a日本国憲法の成り立ちと基本原理を理解する。平和主義と自衛隊の関係について理解し平和の守り方を考える。基本的人権を理解する。	授業プリント 定期考査 観察
6		○国会の組織と立法 ○内閣の機構と行政 ○裁判所の機能と司法制度		○			b国会、内閣、裁判所の機能と関連を理解する。	授業プリント 観察
7		○地方自治制度と住民の権利 ○政党政治と選挙制度 ○18歳選挙権				○	d地方自治と政党政治、選挙制度の基礎を理解する。18歳選挙権の意義を理解し、選挙の重要性を考える。	授業プリント 定期考査 観察
9	現代の国際政治と日本	○国際連合の組織と役割 ○国際政治の動向 ○国際紛争と難民問題 ○国際平和と日本の役割			○		c国際連合の意義と組織について理解する。国際紛争の実態と課題について理解し、日本の役割について考える。	授業プリント 観察
10	現代経済のしくみと特質	○経済主体と経済活動 ○市場経済の機能と限界 ○経済成長と景気変動		○			b市場経済のしくみを理解する。経済成長と景気変動についても理解する。	授業プリント 定期考査 観察
11		○財政のしくみとはたらき　○金融のしくみとはたらき ○物価の動き ○農業の現状と課題		○			b財政と金融のしくみと機能について理解し、景気回復の方法について考える。物価の変動について理解する。日本の農業の現状を理解し課題について考える。	授業プリント 観察
12		○労働問題 ○社会保障制度				○	d労働者の権利と社会保障制度について理解し、問題について考える。	授業プリント 定期考査 観察
1	国民経済と国際経済	○国際経済のしくみ ○国際協調と国際経済機関の役割 ○国際経済の諸問題と日本の役割	○				aグローバル化が進む現代の国際経済について理解し、問題点について考え、日本の役割についても考える。	授業プリント 観察
2・3	日本の諸課題	○少子高齢化と社会保障				○	d激しい少子高齢化に社会保障制度が対応できるか考える。	授業プリント 定期考査 観察

※表中の観点について　a：関心・意欲・態度　b：思考・判断・表現　c：資料活用の技能　d：知識・理解

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている